

# 平成25年7月から9月の六ヶ所原子燃料サイクル施設周辺における環境放射線の評価結果は「概ねこれまでと同じ水準であった」と評価されました。

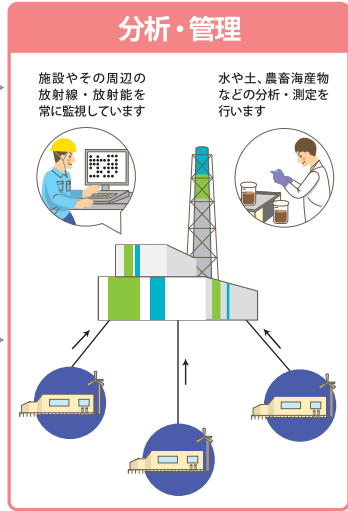
原子燃料サイクル施設の周辺環境における放射線の状況を把握するため、当社では、モニタリングステーション等による空間放射線量の監視を連続的に行うとともに、さまざまな試料を採取し、分析・測定を行っています。

平成25年7月から9月の結果は、放射線の専門家や地元自治体・農漁協など各種団体の関係者等で構成される「青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議（評価委員会：平成26年1月30日開催、監視委員会：平成26年2月26日開催）」において審議され、

「概ねこれまでと同じ水準であった」と評価・確認されました。

また一部の環境試料において、平成23年3月に発生した東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故の影響により過去の測定値の範囲を上回ったものがありましたが、周辺にお住まいの皆さまの健康と安全に影響を与えるレベルではないと併せて評価されました。下段に、青森県と当社のモニタリング結果をあわせて表示します。

なお、当社施設からの影響は認められていません。



## 当社ホームページのご紹介

当社ホームページでは、施設周辺の放射線測定の実タイムデータなどの情報をお知らせしています。

<http://www.jnfl.co.jp/monitoring>

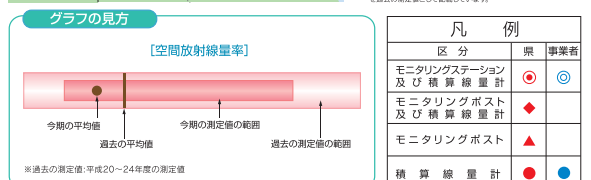
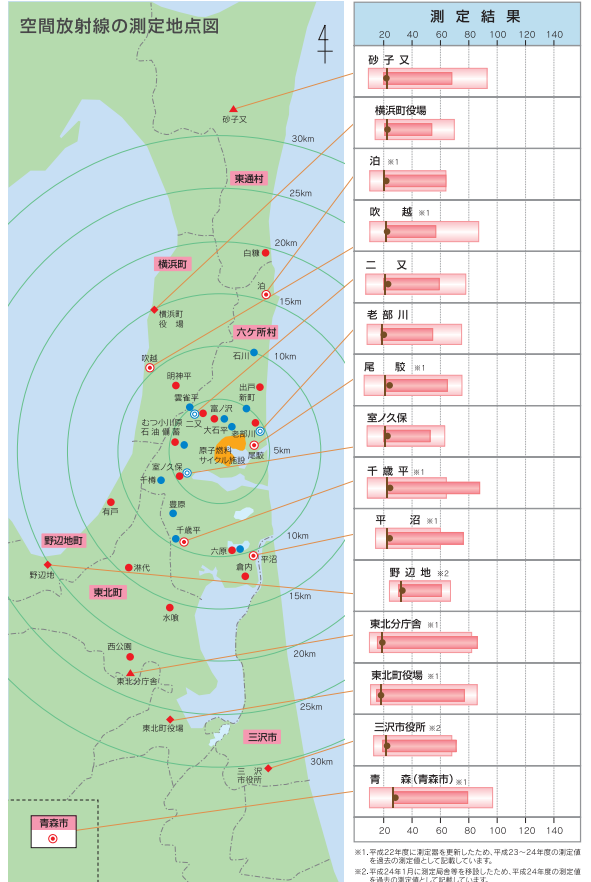
### ●放射線モニタリングのページ



### ●空間放射線量の監視ページ



## 空間放射線のモニタリング結果



## 環境試料中の放射能のモニタリング結果

